

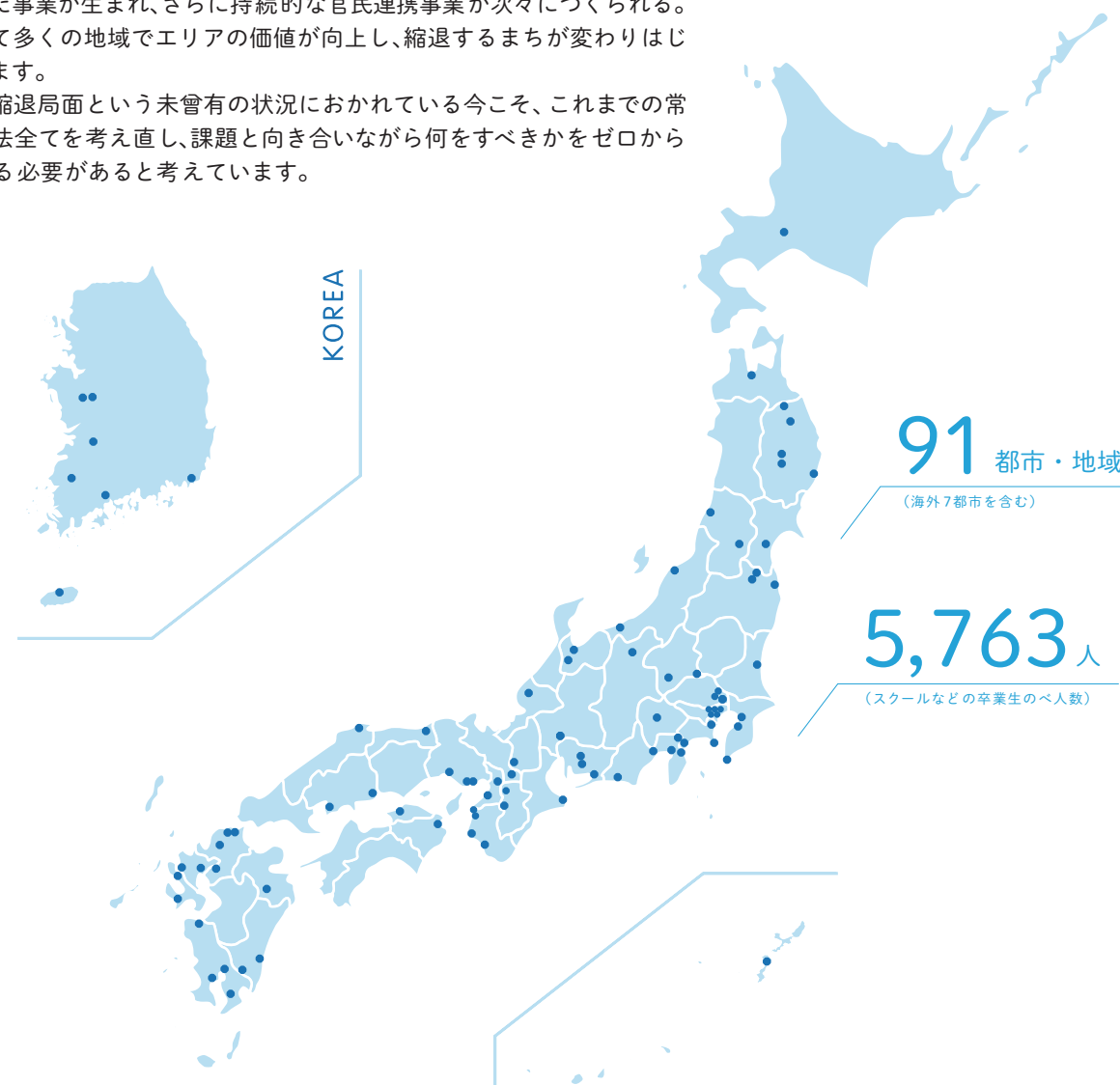
リノベリングは、“リノベーションまちづくり”を全国各地で推進しています。

遊休不動産などを題材に、地域を変える人材が事業提案を考え実現する「リノベーションスクール」などの新しいまちづくりの手法を、地域の人たちと一緒に創り出しています。

2010年に北九州市小倉魚町で「リノベーションまちづくり」をスタートし、全国で効果的な都市・地域再生事業を展開しています。

パブリックマインドを持つ民間プレイヤーによって、補助金に頼らない自立した事業が生まれ、さらに持続的な官民連携事業が次々につくられる。こうして多くの地域でエリアの価値が向上し、縮退するまちが変わりはじめています。

人口縮退局面という未曾有の状況におかれている今こそ、これまでの常識や手法全てを考え直し、課題と向き合いながら何をすべきかをゼロから構築する必要があると考えています。



2010年に国内で最初に着手し、10年取組み続けた北九州市の主な成果

エリア価値の上昇

魚町サンロード商店街の家賃が0.5万円から1.5万円に上昇し、魚町銀天街の家賃は1.6倍に増加。結果として、新築の低層商業施設が建てられるようになるなどエリア全体の価値が向上した。

歩行者通行量の増加

5年間で約3,000人/日の歩行者通行量が増加した魚町サンロード商店街が国家戦略特区に認定。車のための道路と人のための広場として活用されている。点としての民間案件活用と、線としての公共空間活用を同時に行うことで、回遊性向上による賑わい創出に成功した。

新たな雇用の創出

リーディングプロジェクトが21件事業化され、周辺エリアに波及効果を生んでいる。創業者と新規雇用者合わせて約500人の新たな雇用を創出することができた。

まちの潜在資源を活用して 都市・地域の経営課題を解決する



リノベーションまちづくり 総合プロデュース業務について

- 概要版 -



リノベリング

お問合せ先

株式会社リノベリング

〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-18-31 藤間ビル5F
TEL: 03-5904-9603 MAIL: info@renovaring.com



まちの潜在資源を活用して 都市・地域の経営課題を解決する

リノベーションまちづくりの様々な手法を組み合わせながら、エリアに合った独自のプログラムをご提案いたします。将来的にはそのまちでリノベーションまちづくりが自走し、持続するための基盤づくりをサポートします。

リノベーションまちづくりの 5つのポイント

1

**独自の視点で
まちの潜在資源を発掘**
見過ごされがちなまちの潜在資源
(空間、建物、人、文化、歴史など)や
魅力を発掘する

2

ビジョンを持つ
まちづくりに関わる様々な活動に
相乗効果を持たせるため、
ビジョンを構想として
作成する

3

**新しいマーケットを
創り出す**
マーケティング戦略を組み立て、
リノベーション事業企画・提案を
行い、ビジネスモデルを創造し、
新しいマーケットを
創り出す

4

**まちづくり会社を育て
行政主導から民間主導へ**
民間主導でまちづくりを実践する
ために必要な優秀な人材を集め、
実践的な教育を行い、
自立型のまちづくり会社を
育てる

5

**庁内の部署横断を
進める**
民間の活動を支えるため、
部署を横断したつながりを持ち
協議できる場を持つ

プログラム

リノベーションまちづくり講演会

地域の実情や課題に沿ったテーマについて
行う、専門家・実践者による講演会

リノベーションまちづくり構想の策定

リノベーションまちづくり構想策定のための
委員会の開催や、政策立案へのアドバイス及び
プロデュース

家守育成トレーニング

リノベーションまちづくりの担い手である家守
会社・事業者を対象とした、家守事業構築のため
のビジネススクール

公共空間の利活用プロデュース

遊休化した公共施設や低利用・未利用の公共空
間の活用を事業化するための様々なアドバイス
及びプロデュース

まちのトレジャーハンティング

まちの魅力的な資源を見つけ、スモールエリアの
近未来の暮らしやビジョンを提案する2日間の
ワークショップ

リノベーションスクール

まちなかの遊休不動産を使ってエリア再生のため
のビジネスを創り出す、座学と実践による3日間
の集中講座

公務員リノベーションスクール

地方自治体の公務員を対象とした、リノベ
ーションまちづくりの手法や実例を学ぶ集中講座



5ヵ年計画の例

右記業務内容及びスケ
ジュールは一例です。
メニューの組み合わせは
地域によって様々です。
まちの課題や状況に応じた
プログラムとプロセスを
ご提案します。



0 年目	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	6 年目以降
事前準備 ☐ リノベーションスクールや 関連イベントに参加する ☐ 自分のまちの状況と課題を 分析する ☐ 庁内で仲間・チームをつくる ☐ リノベリングへ相談する ☐ 予算確保 ☐ 契約	講演会 トレジャーハンティング 	まちづくり構想策定 	リノベーションスクール 家守育成ト レーニング 公共空間の利活用プロデュース		“地域の自走化” 最終的にはリノベーションスクールなどのリノベリングの事業に 頼らず、地域内で人材発掘や育成、事業創出とその支援などが行わ れる「自走化」を目指します。 5年目あたりまでには自走化できるよう、様々なノウハウ移転を行 います。地域で継続してリノベーションまちづくりを行うために、 民間では自立した家守会社の設立や、行政ではリノベーションま ちづくり・公民連携を所管する部署の設置が求められます。	各地域が自立した取組を展開
		リノベーションまちづくりのノウハウ移転・ リノベリングによるフォローアップ				

>>> エリアの価値が向上するには、通常5～7年以上の期間が必要となります。事業の継続が不可欠です。